

# 2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月11日



# 目 次

---

1-1. ナラサキ産業グループの概要

1-2. ナラサキ産業グループの事業領域

2-1. 2026年3月期 第2四半期 連結業績

2-2.        //                   セグメント別業績

2-3.        //                   財務状況、C F 状況

2-4.        //                   営業利益増減分析

2-5.        //                   トピックス

3-1. 2026年3月期（通期）       連結業績予想

4-1. 企業価値向上に向けた取り組み

4-2. キャッシュフローと配当額・配当性向推移

---

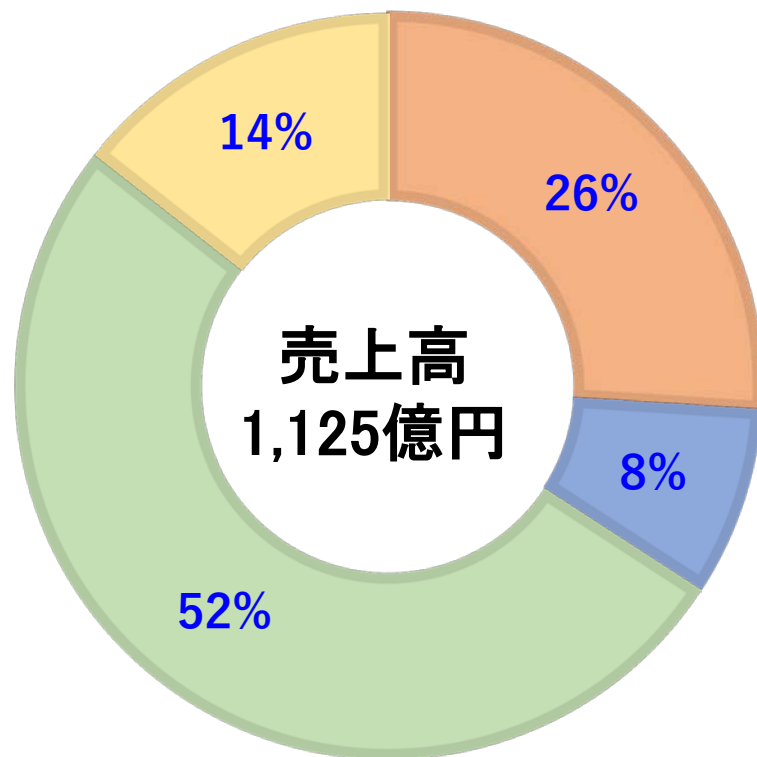
## 1-1. ナラサキ産業グループの概要

**経営理念** 「誠意をもって顧客の信頼を得る仕事をする」

証券コード	:	8085
商号	:	ナラサキ産業株式会社 (NARASAKI SANGYO CO., LTD.)
所在地	:	東京都中央区日本橋箱崎町19番21号 MSH日本橋箱崎ビル (登記上の本店所在地：札幌市中央区大通西7丁目3番地1)
設立	:	[創業] 1902年3月 [設立] 1943年10月
資本金	:	23億54百万円
従業員	:	[連結] 749名 [単体] 423名 (2025年3月末)
売上高	:	[連結] 1,125億円 [単体] 930億円 (2025年3月期)
関係会社	:	連結子会社 4社 (国内3社、海外1社) 非連結子会社 5社 (国内4社、海外1社) 関連会社 6社 (国内6社)
上場年月	:	1963年4月 東京証券取引所 (スタンダード)、札幌証券取引所

## 1-2. ナラサキ産業グループの事業領域

2025年3月期 連結売上高



■ 電機 ■ 機械 ■ 建設・エネルギー ■ 海運

### 電機関連事業

機器・F Aソリューション関連  
建築設備・ファシリティソリューション関連  
F A・高機能材料関連

### 機械関連事業

農業施設関連  
食品・産業機械関連  
環境エネルギー関連

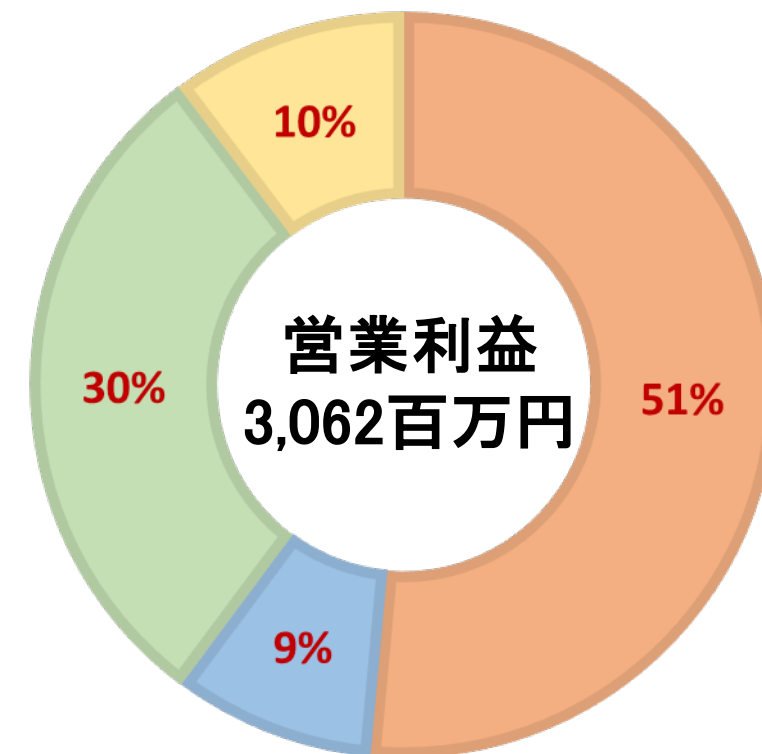
### 建設・エネルギー関連事業

建材関連(セメント系・建築系・土木系)  
エネルギー関連  
建設機械関連

### 海運関連事業

港湾中継(荷役・トラック・倉庫)  
国内輸送・国際輸送・通関・貿易  
海上輸送(一般貨物・セメント・ケミカル)  
代理・代行(船舶代理店・荷主代行)

2025年3月期 連結営業利益



■ 電機 ■ 機械 ■ 建設・エネルギー ■ 海運

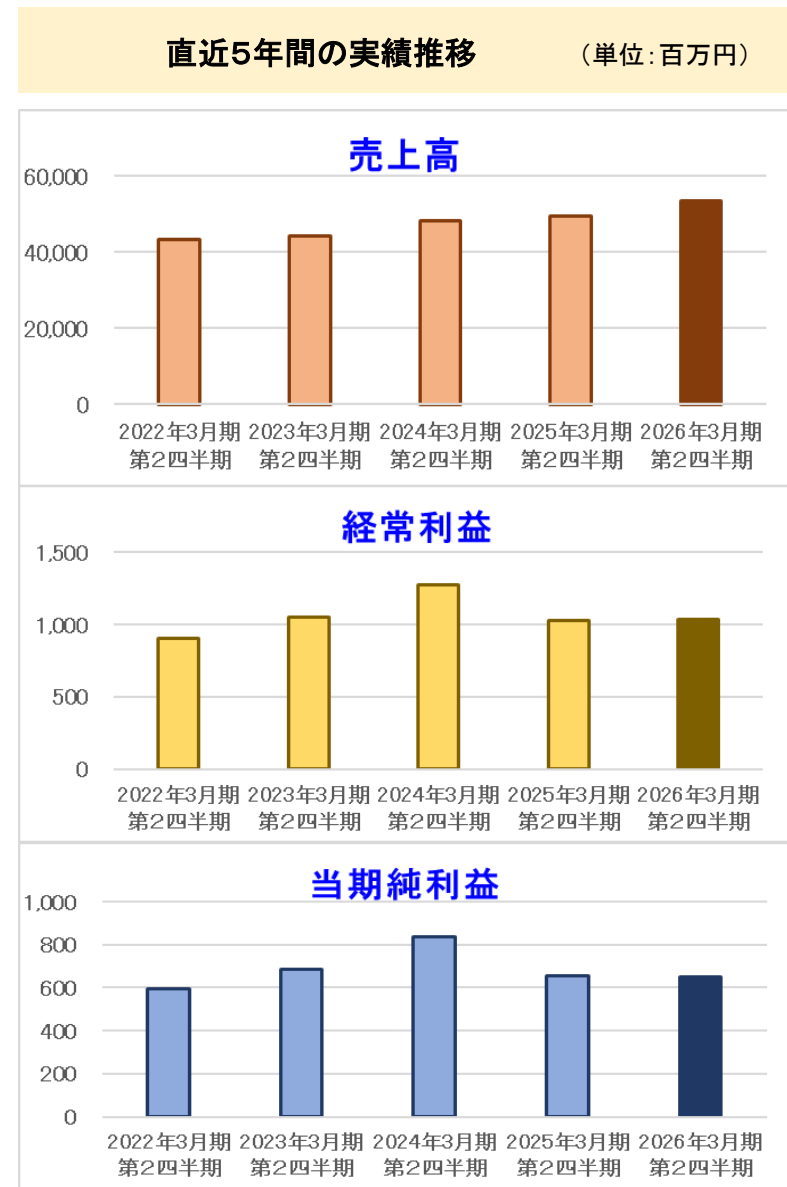
## 2-1. 2026年3月期 第2四半期 連結業績

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	49,396	<b>53,472</b>	+4,076	+8.3%
営業利益 (利益率)	970 (2.0%)	<b>922</b> (1.7%)	△48	△5.0%
経常利益 (利益率)	1,025 (2.1%)	<b>1,026</b> (1.9%)	+1	+0.1%
中間純利益 (注) (利益率)	657 (1.3%)	<b>643</b> (1.2%)	△14	△2.1%

(注)親会社株主に帰属する中間純利益

- 中期経営計画 “NSクリエーション2026” 2年目
- 売上高は前年比+8.3%、経常利益は前年比+0.1%、増収・利益横這い
- 売上高は中間期としては過去最高水準、営業利益・経常利益・中間純利益は低調だった第1四半期から挽回、前年並みの水準を確保



## 2-2. 2026年3月期 第2四半期 セグメント別業績

(単位: 百万円)

上段: 売上高 下段: セグメント利益	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	セグメント別の概況
電 機 関 連	12,043 434	12,996 369	+953 △65	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築設備分野では、活発なインフラ投資により、制御機器・空調機器の販売が堅調</li> <li>● 生産設備分野では、生成AI関連が好調、全体的に回復基調だが本格化はこれから</li> <li>● レーザ加工機やシステム販売など商材獲得順調だが、案件受渡しは下期に偏重</li> </ul>
機 械 関 連	3,415 △ 19	2,911 △ 20	△504 △1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業施設・産業機械分野では、効率化・省力化や環境関連中心に引続き需要堅調</li> <li>● 特に、北海道地区では、農水分野での多岐にわたる投資需要の獲得順調</li> <li>● 受注状況順調ながら、大型案件の受渡は下期に偏重、工期長期化の影響あり</li> </ul>
建 設 ・ エ ネ ル ギ ー 関 連	25,558 307	29,333 324	+3,775 +17	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建材分野では、北海道新幹線工事などでセメント・生コンや土木資材の出荷好調</li> <li>● 建設機械分野では、除雪機械は低調ながら、道路・圧送関連機械の販売堅調</li> <li>● エネルギー分野では、需要低迷で数量確保に苦戦も、配送効率化で採算確保</li> </ul>
海 運 関 連	8,379 263	8,230 251	△149 △12	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主力の鋼材の他、半導体関連貨物やバイオマス燃料の取扱いが好調に推移</li> <li>● 人員不足や航路休止などの影響受け、荷動きは低調ながら、業務効率化推進中</li> <li>● 新設の八戸多目的倉庫や苫小牧東港物流センター活用による事業拡大を期待</li> </ul>

(注1) 売上高＝外部顧客への売上高

(注2) セグメント利益の合計額は配分していない全社費用等が含まれており、連結営業利益とは合致していない

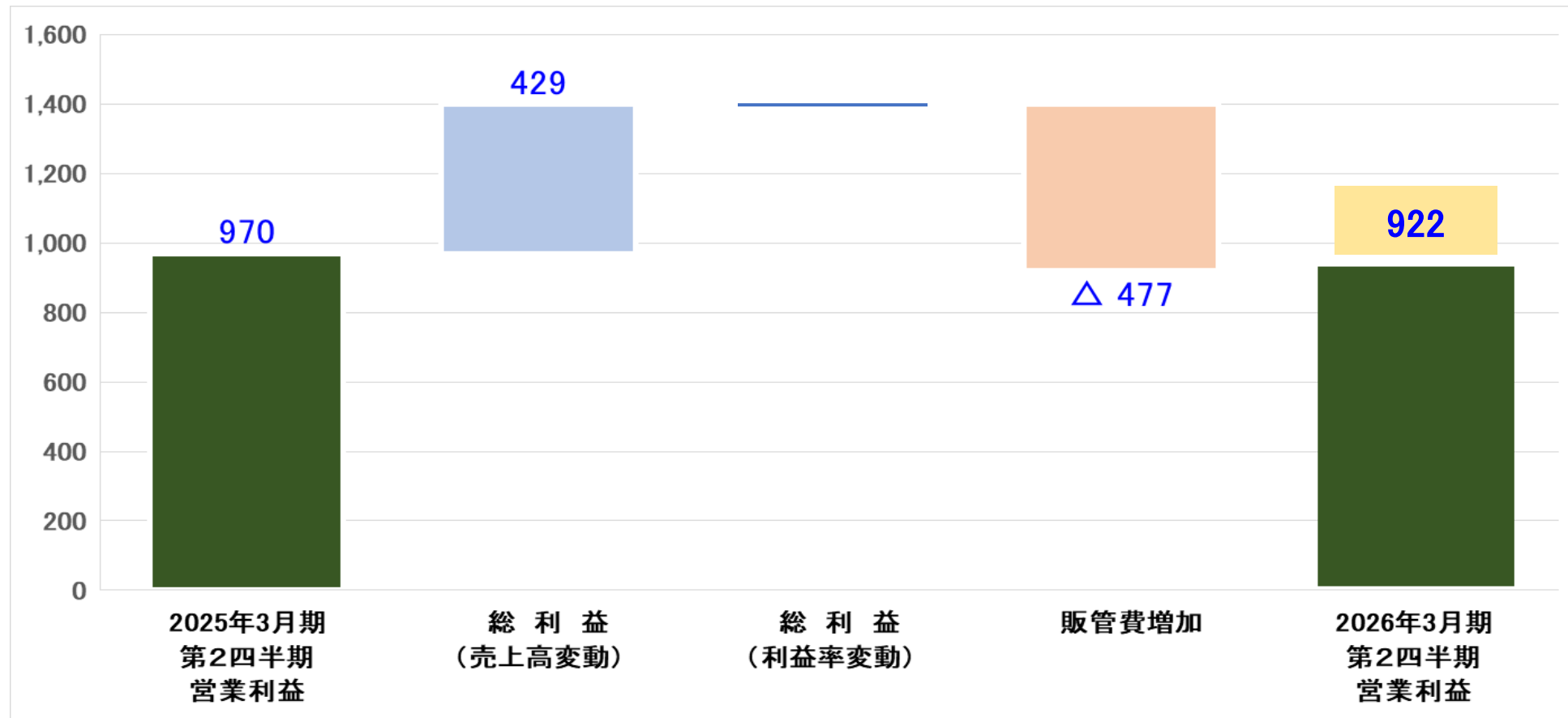
## 2-3. 2026年3月期 第2四半期 財務状況、CF状況

(百万円)		2025年3月末	2025年9月末	増減	主たる増減要因
流動資産	流動資産	39,001	38,761	△240	現金・預金△378 受取手形・売掛金・契約資産△1,703 電子記録債権+494 商品+614 仕掛品+119 前渡金+480
	固定資産	17,478	18,743	+1,265	有形固定資産+747 投資有価証券+582
資産合計		56,479	57,504	+1,024	
流動負債	流動負債	25,314	25,827	+513	電子記録債務+846 1年内返済長期借入金△107 未払法人税等△168
	固定負債	4,464	4,475	+11	長期借入金・長期未払金△116 繰延税金負債+176
負債合計		29,778	30,303	+524	
純資産合計		26,700	27,201	+500	株主資本+172 その他有価証券評価差額金+403

(百万円)		2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	キャッシュフローの主な要因
営業活動CF		383	1,511	+1,128	税金等調整前中間純利益+1,020 有形固定資産・長期前払費用償却+454 売上債権減少額+1,185 棚卸資産増加額△729 仕入債務増加額+779 前渡金増加額△482 法人税等支払額△490
投資活動CF		△1,425	△1,088	+337	有形固定資産取得による支出△958 長期前払費用取得による支出△116
財務活動CF		△752	△796	△44	配当金支払額△613 長期借入金返済額△130
現金・現金同等物(期首)		15,048	12,609	△2,439	
現金・現金同等物(期末)		13,251	12,231	△1,020	

## 2-4. 2026年3月期 第2四半期 営業利益増減分析

(単位：百万円)



- 売上高増加に伴い、売上総利益は429百万円増加（連結ベースでの売上高総利益率に変動なし）
- 基幹システム入替に伴う償却費増、北海道支社並びにナラサキスタックス(株)本社の移転関連費用の発生、給与改定に伴う人件費増などの要因により、販売費および一般管理費は477百万円増加



## 2-5. 2026年3月期 第2四半期 トピックス

### ◎北海道支社の移転

- ▶ 本年9月、昨年の本社オフィス移転に続き、北海道支社（登記上の本店）を移転しました。
- ▶ 新オフィスは、札幌市の中央部に位置する大通公園に面し、フリーアドレスや多目的エリアなどを取り入れ、業務効率化や社員相互のコミュニケーション向上を目指したオフィス環境を構築しています。



### ◎ナラサキスタックス(株)本社の新築・移転

- ▶ 当社の連結子会社で、苫小牧市に本社を置く同社は、本社屋を物流拠点である「晴海町」に新築・移転し、本年5月より新社屋にて営業を開始しました。
- ▶ 拠点集約による業務効率化を図るとともに、職場の環境改善に取り組んでいます。また、地震・津波等災害発生時の避難場所として活用しています。



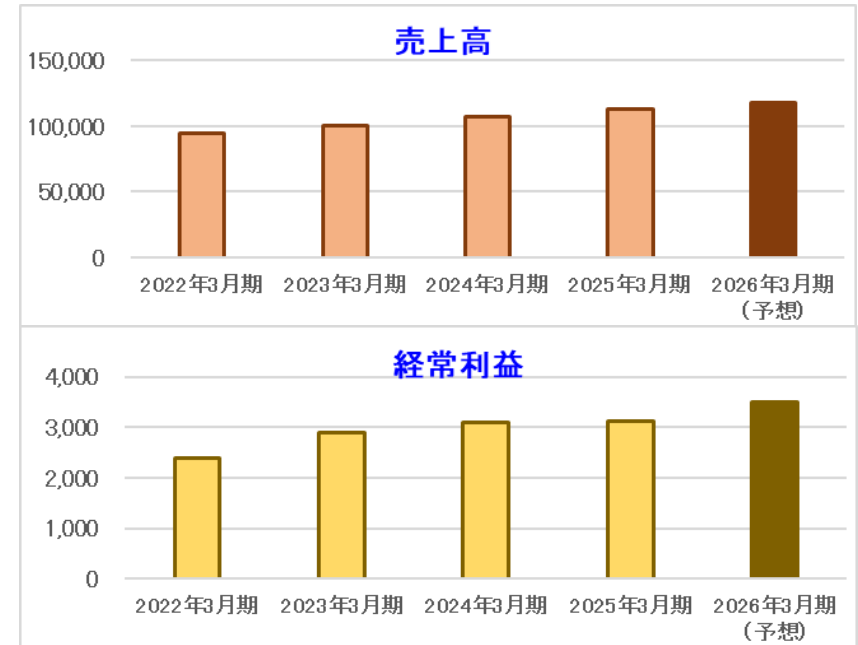
## 3-1. 2026年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	112,512	<b>118,000</b>	+5,488	+4.9%
営業利益 (利益率)	3,062 (2.7%)	<b>3,500</b> (3.0%)	+438	+14.3%
経常利益 (利益率)	3,131 (2.8%)	<b>3,500</b> (3.0%)	+369	+11.8%
当期純利益 (利益率)	2,241 (2.0%)	<b>2,500</b> (2.1%)	+259	+11.6%

実績推移と2026年3月期予想

(単位：百万円)

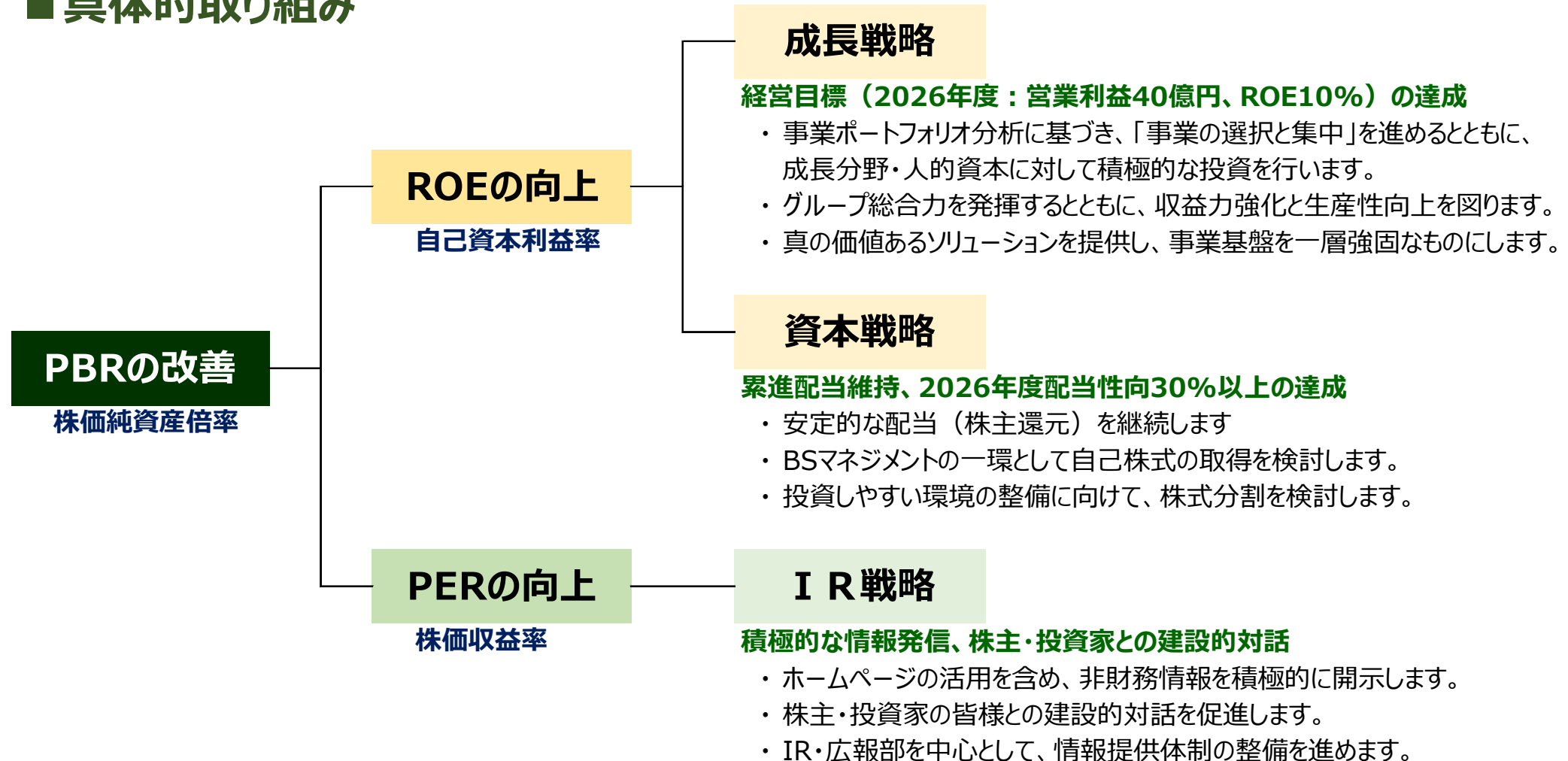


- 取り巻く事業環境は、緊張が続く国際情勢、労働力不足による工事遅延、資材・エネルギー価格の高騰など、不透明な状況が続くものと認識しています。一方で、好調な企業収益を背景に、デジタル化や脱炭素化、生産性向上、安心・安全を確保するためのインフラ整備など、中長期的視点での取り組みが一段と活発化するものと想定しています。
  - 事業環境の変化に的確・迅速に対応し、セグメント毎の戦略・施策を着実に実践することにより、「チームナラサキ」としての総合力を発揮し、売上高1,180億円、営業利益・経常利益35億円の達成を目指します。
- したがって、現時点においては、2025年5月13日公表の業績予想に変更はありません。

## 4-1. 企業価値向上に向けた取り組み

※2025年6月17日付「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）」の内容

### ■ 具体的取り組み



## 4-2. キャッシュアロケーションと配当額・配当性向推移

中期経営計画（2024年度～2026年度）  
におけるキャッシュアロケーション

キャッシュイン  
（資金の源泉）

営業CF

50億円

資産売却その他

20億円

キャッシュアウト  
（資金の使途）

戦略投資

22億円

設備投資

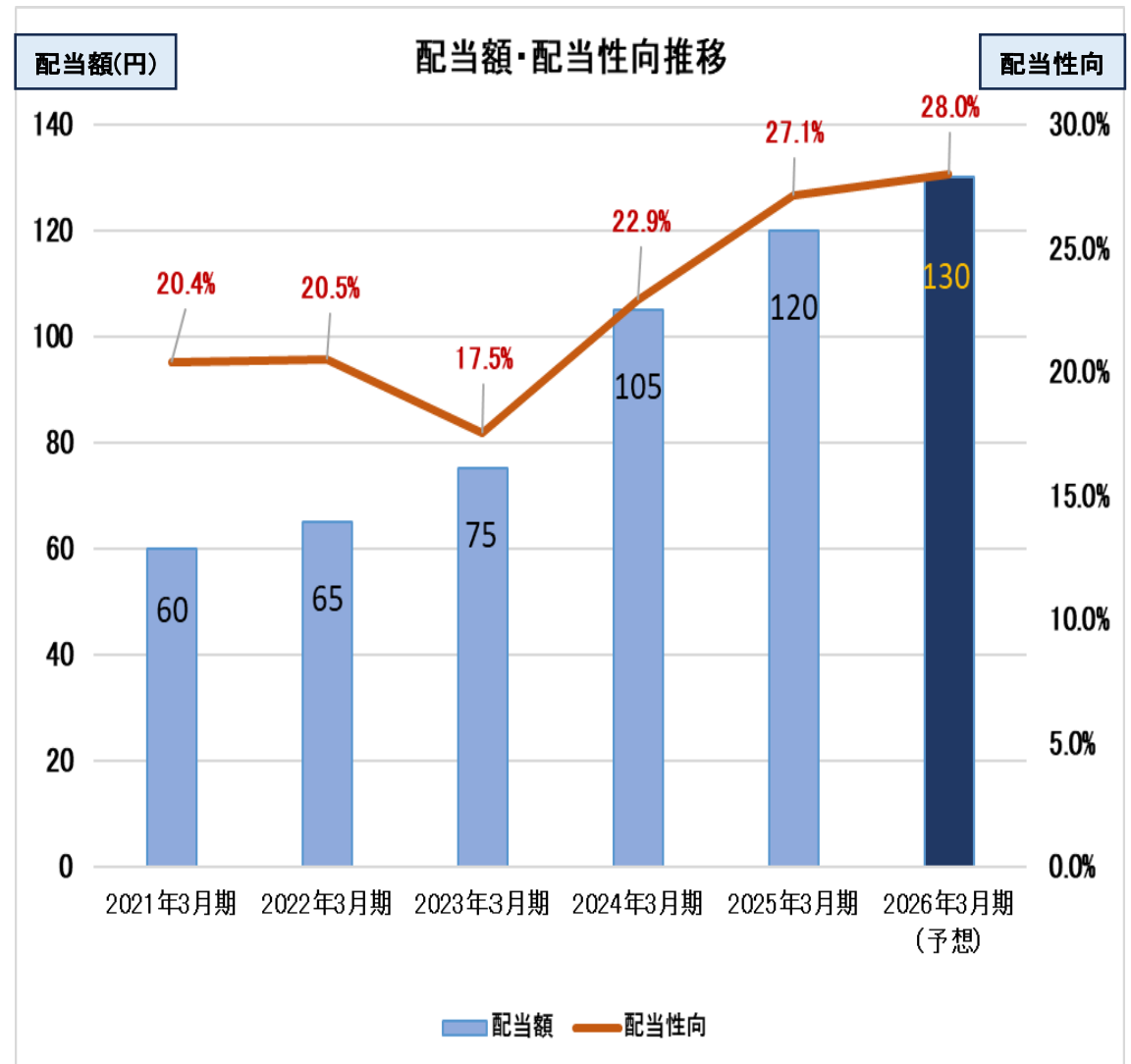
26億円

株主還元

18億円

配当性向目標30%

借入返済 4億円



## 注意事項

本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。